



谷あいの舗装道路を、すべるようにテラーが走る（辛川～雁津）

畳の上より

なめらかな道

手をさしのべるとつかえそうな谷あい
に、たった二軒だけの村、雁津がある。
ここでは、水車が発電所の役割を受け
持っており、自動車用のバッテリーに蓄
電された電気が、二軒の農家に明りを送
っている。

この度、この部落に通じる道路の一部
がアスファルト舗装になった。市ではゆ
くゆく全延長を舗装する計画だが、深い
谷あいの村にも、新しいいぶきが吹き込
まれた感じがした。広報係は、取材のためこ
の地区を訪れたが、その時お会いした雁
津亀治さんは、『わしらが若いころは、
米の供出だというと、ネコ車に一俵ずつ
積んで、せまい二尺の坂道を行ったり
帰ったりしたものです。その後やっと道
が広がって、大八車に四俵、五俵と積ん
で出れるようになった時は、えらい楽に
なったと喜んだもんです。ところがこの
度、この道がたまたまの上よりなめらかに
歩けるようになった。わしの目が黒いう
ちに、こんなことになるとはゆめにも思
わなかった。』と目をうるませて話して
おられた。道路の整備は、すべての発展
の基盤です。鳥取市は、この大切な道路
整備にとくに力をいれており、市道も農
道も全部が舗装されるのも近いことでし
ょう。

交通安全スローガン

注意一秒

ケガ一生



1967年

市政のおもなできごと

記録と整理こそ、新しい発見と発展のみなもとだと言われているのですが、かず多くの足あとを残して過ぎ去ろうとしている昭和42年のこの暮にこそ、私たちも、鳥取市のできをふり返って見る必要があります。

そこで、今回は、多くの事業のなかからおもなものを写真で整理することになりました。これら多くの問題が解決し、事業が進められましたのは、市民みなさんの市政に対する深いご理解とご協力があったからこそです。



名誉市民章の贈呈

四氏に名誉市民の称号 — 市政誕生以来はじめて —

11月1日、市制78周年記念式典で、鳥取市の公共の福祉増進、文化の進展に貢献のあった、故田中政春氏、故遠藤董氏、故由谷義治氏、三浦百重氏の4氏に名誉市民の称号が贈られました。これは市制施行以来はじめてのことです。



三浦百重氏



故由谷義治氏



故遠藤董氏

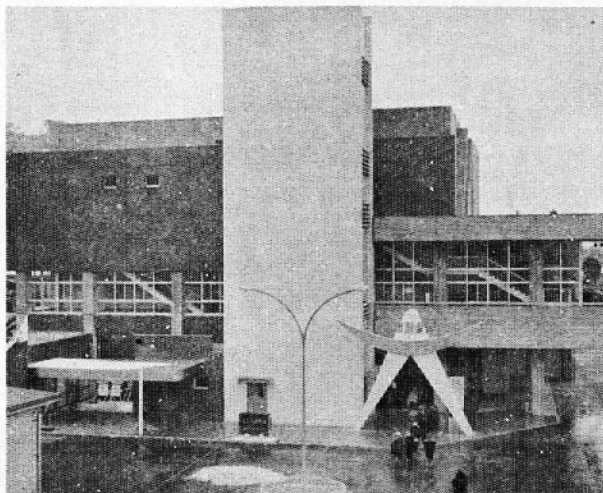


故田中政春氏

待望久しかった市民会館が総工費約二億五千万円で完成し、ことし一月十二日に完成式を行ない、以来、大ホールをはじめ展示室など幅広い利用があり、この一年間で約三百二十回（十二月は予定）、延入場者一九万五千人と驚くほどの利用状況となっています。先般、ある日刊紙の読者の声で、市民会館での「ルイシジョとスペイン舞踊団」の公演を観賞し、この夜の興奮は永遠に忘れられぬ。こんなすばらしいショーも市民会館があったからこそだと感激しておられた。今後この市民会館を一層地域社会の文化の向上に役立てたいものです。

フルに利用された市民会館

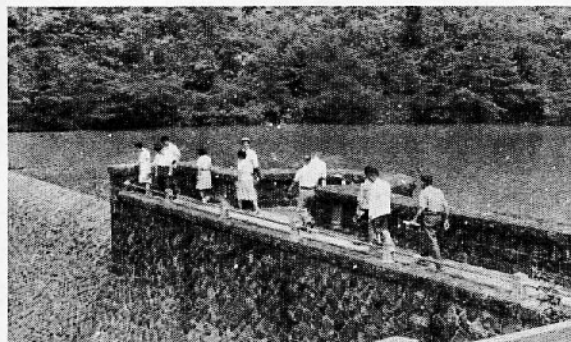
— 三百二十回で一九万五千人 —



乳幼児の専門保育所できる

共働きの一番の悩みは、乳幼児の保育であり、この対策こそ切実な願いです。市では、4月に小ばと保育所を本格的な才満児専門保育施設として充実し、働くお母さんによるこばれています。

なお、美保、美穂の2つの保育所にそれぞれ保育室を増築し、園児の収容定員を増やしました。



好評の施設めぐり

700人が参加

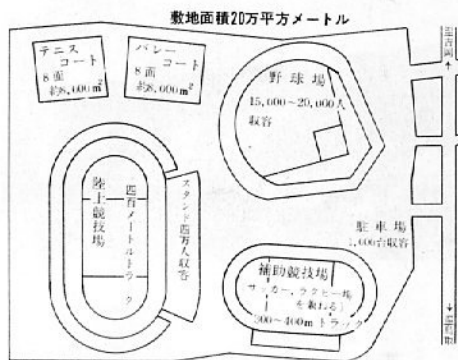
「税金のゆくへ」や「充実していく鳥取市の姿」をじかにはだでたしかめていただこうと、ことしは観光や水道施設など専門コースの施設めぐりを行ないました。延 700人が参加されましたが、こんなりっぱに…なるほど…など異口同音鳥取市の発展に感心しておられました。



総合グラウンド建設位置が決る

懸案の総合グラウンドの建設位置が10月上旬松保地区に決まり、鳥取市開発公社が、用地の買収をはじめました。

規模(予定)は下図のとおりです。



高田市長

職員に迎えられて初登庁

みたび市政を担当

高田市長は2月19日の市長選挙で「健康都市の建設」、「谷間のない市政」、「消費都市から生産都市への脱皮」、「福祉行政の充実」を公約して立候補し、三選されました。

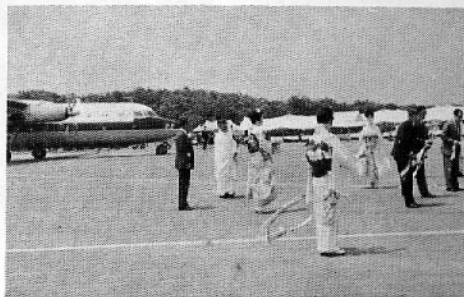
広くなる市庁舎の前庭

10月から市庁舎前庭の整備にとりかかりました。この広場は、約2,300平方メートルの広さで、道路ぞい外側に幅3メートルのグリーンベルトを設け、内側をアスファルト舗装するもので、来年1月には完成し、駐車場として約100台が収容できます。

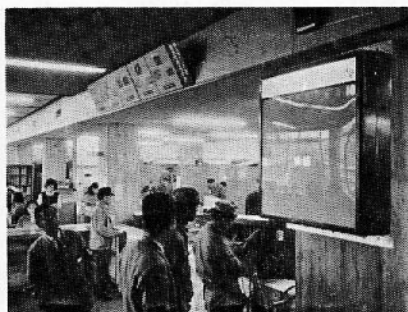


七月三十一日空の玄関口としての鳥取飛行場が完成しました。この飛行場建設にあたって、鳥取市では約四十一万六千平方メートルの敷地を提供しています。

鳥取飛行場が完成



開港にぎわった鳥取飛行場



好評の電光掲示板

便利になった

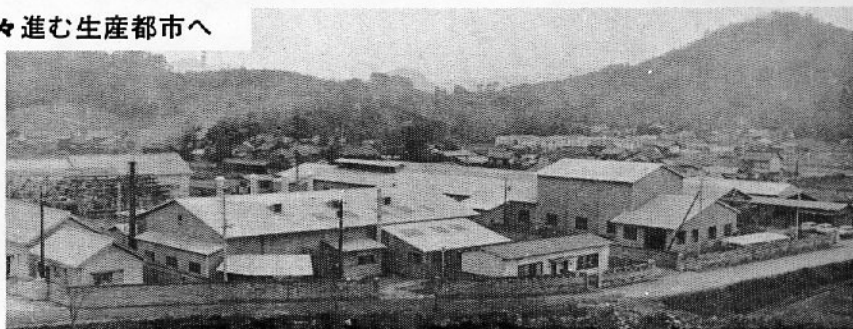
市民課の窓口

十一月十日から実施された住民基本台帳制度にともなって、市民課の窓口を能率的に改善しました。さらに電光掲示板も取り付けて、待ち時間のいらら解消にも乗り出しました。

着々進む生産都市へ

生産都市建設の一環として、企業誘致に積極的に取り組む、ことしは八社(延約四百人雇用、生産額約九億円)を誘致し、着々とその基盤を固めています。

なお、昭和三十五年から現在までに十八社の企業誘致に成功しております。



雲山団地

消防力の近代化は、市民の生命、財産を守るために絶対に欠くことができません。この春、体育



消防庁舎を建設 全車に超短波無線

館前に工費三千二百五十万円をかけて、近代的な消防庁舎を建設しさらに十一月には、経費二百八十五万円で全市一円に送受信が可能な最新鋭の超短波無線局をつくりました。これで行った。火事現場、事故現場からでも全車に連絡が可能となり、消防活動が一段と充実しました。



しゃんしゃん祭りに釧路から特別参加

8月15・16日の2日間、第3回しゃんしゃん祭りは、33団体、約2千人の参加で盛大に行なわれました。とくにことは、はるばる姉妹都市釧路から訪れた鳥取かさ隔り保存会の一行15人の特別参加があり、一段とはなをそえました。

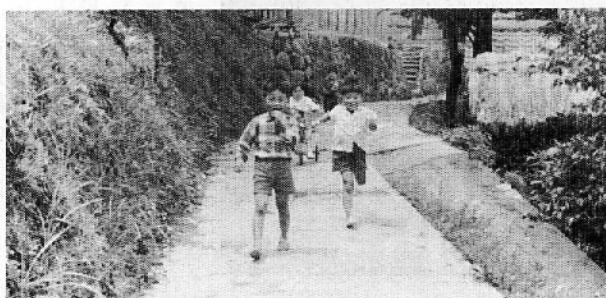
ホームヘルパー制度を採用
重度身体障害児の福祉対策の一つとして、五月から家庭奉仕員（ホームヘルパー）制度を採用し、家庭訪問を行なっています。十一月末日で延べ百六十回訪問し、家族からの相談や身の廻りの世話を行なうて、大変よろこばれています。



好評の部落内舗装

三万六千平方メートルを舗装

ことしから第二次三カ年計画で工事を進めている部落内道路舗装は、今年度は千五百万円で関係の百二十三部落に、約三万六千平方メートルを完成しました。どこの部落からも大変喜ばれています。

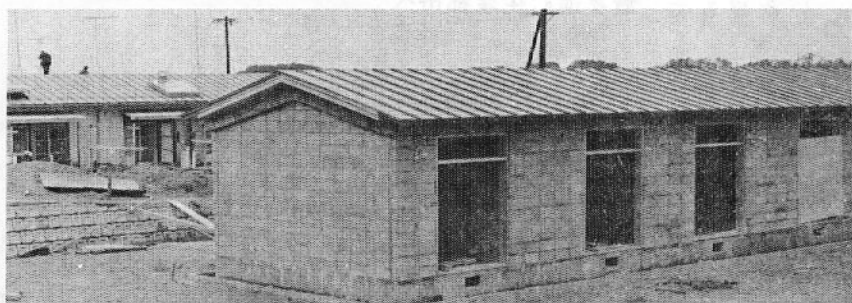


雨が降ってもぬかるま道になつたと大喜び

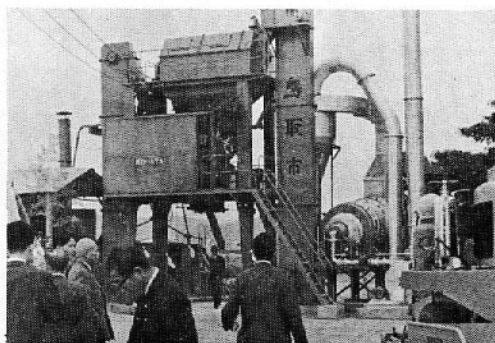
市営住宅

四十三戸を建設

住宅難の解消に積極的に取り組んでいますが、今年度は、事業費四千九百九十二万五千円をかけて、四十三戸の公営住宅建設に取りかかっており、一部完成しております。



湖山住宅団地



アスファルト・プラントが完成

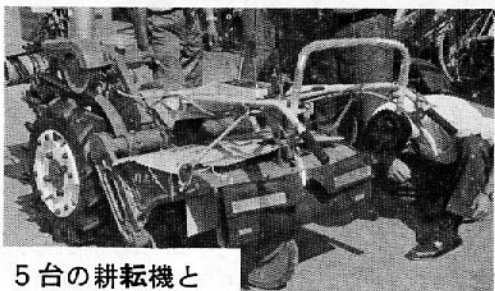
10月26日、徳尾地内に工費1,500万円をかけて、舗装用アスファルトを生産するプラントが完成しました。この完成で、質の良いアスファルトができ、道路舗装に一段とピッチをあげることができるようになりました。



完成間近い十神林道

7本の林道を建設

山林開発はまず林道の整備からと、十神林道（久松山裏側）ほか6本の林道を建設しました。



5台の耕耘機と

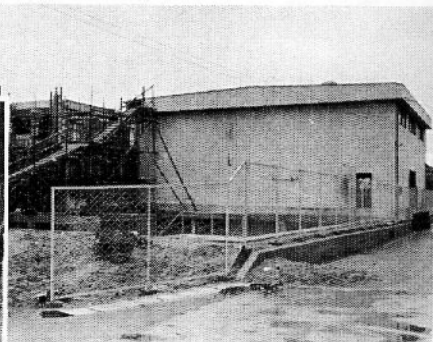
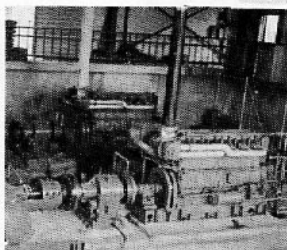
14台のティラーを貸与

同和対策事業の一環として、馬場に5台の耕耘機を、古海にティラー10台、倭文にも4台、布勢に動力粉霧機1台を貸与し、さらに国安、馬場には農道を新設しました。

下水道事業は順調に工事が進んでおり、今年度は一億八千万円で雨水ポンプ一台、汚水ポンプ二台、終末処理場の沈砂池スクリーンとポンプ、その他電気設備などの整備を行いました。

なお、袋川右岸地域（一部を除く）では、来年度から水洗便所の取り付けも可能となります。

来年度から 水洗便所化が可能



市街地を浸水から守る雨水ポンと薬研堀ポンプ場

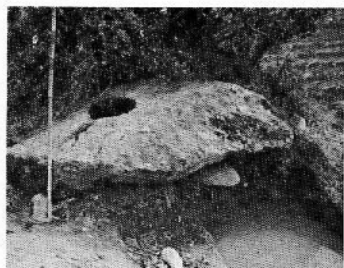
農村道12Kmを舗装

昨年に引き続いて、事業費2,000万円で37部落に約12Kmの舗装を完成しました。

この舗装工事で各部落の方々は「谷間のない市政」の意義を身をもって知らされたと大喜びでした。

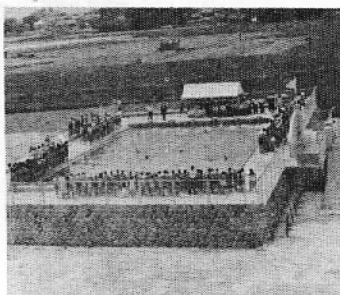


完成した辛川部落の農村道



菖蒲廃寺を発掘調査

菖蒲地内で発掘された廃寺のあとは、奈良朝初期の東大寺式伽藍ではないかと推定されており、鳥取市では本格的な調査にのり出しました。



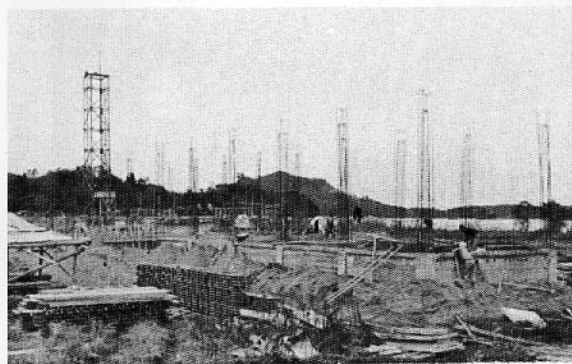
城北小にプール完成

城北小学校にプールが完成しました。プール建設にはPTAや関係者の全面的な協力をいただいておりますが、いままでは小、中学校あわせて十四校にプールが完成しています。

老人休養ホームの建設はじまる

お年寄りの方々にゆっくり楽しんでもらえる施設をつくらうと、金沢の湖山池湖畔に、7月から老人休養ホームの建設に取りかかりました。

この休養ホームは、事業費3,973万5千円で8畳12室10畳3室のほか大広間、浴場、食堂などが整備され、60人の宿泊と150人の休憩ができるようになっており、来年3月には完成する予定です。

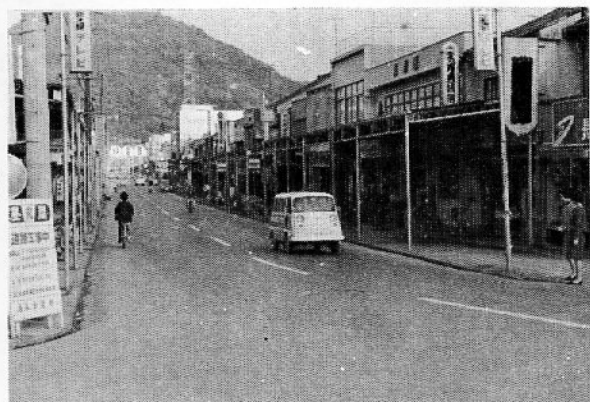


一日も早い完成をと工事を急ぐ老人休養ホーム

智頭街道など延2,000メートルを舗装

道路の整備は、交通安全のうえからも欠くことはできません。42・43年度事業として、今町交差点から裁判所までの舗装を計画していますが、年内に約600万円をかけて約600メートルの舗装が完成しました。

なお、このほか富安～宮の下線、片原～賀露線の歩道も完成し、現在今町～行徳線の舗装を行なっています。



ばになった智頭街道

三つの

児童公園が完成

児童に健全な遊び場をと年次的に児童公園の建設をすすめています。が、古市、興南第一、行徳の三つの公園を事業費五百十七万円かけてつくりました。

これで児童公園、都市公園は三十五となります。



完成した興南第一公園



美和小校舎

美和小が完成 一世紀小の校舎建設にも着手一

文教施設の整備は、教育振興の一つの要件であります。小・中学校の校舎の新築や増改築を年次的に行なっていますが、ことしは2億4629万2千円をかけて美和小を完成し、日進、世紀小学校と南中の統合校舎などの整備を急いでいます。



新しい水源をもとめてボーリングが進む

さらに5千トンの水を確保

年々膨脹する市街地、これに比例して水の需用もおどろくほど増大の一途をたどっていますが、市民みなさんに水不足のご迷惑をかけないようにと、苦しい水道会計のなかで、事業費361万円をかけて、水源確保の工事に取りかかっています。この工事が完成されれば、新しく1日当り5千トンの水を取ることが可能となり、1日当りの平均送水量は約4万トンとなります。

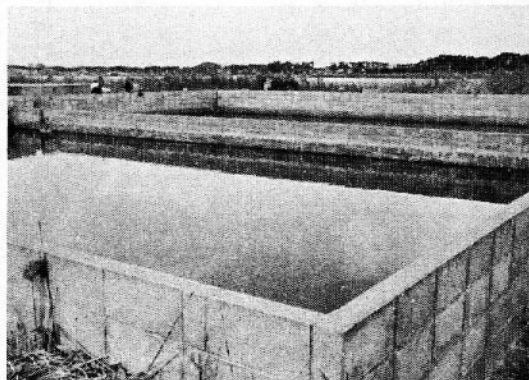


湖山池のほとりに

魚のふ化場ができる

内水面漁業振興の一環として、鳥取大学南側の湖山池湖畔に、卵から稚魚をつくり池に放流する施設を建設しています。この施設は、約350平方メートルのコンクリートの水槽で、ふ化池と育成池に区別されており、この施設が完成すると一年間26万尾の鯉を生産することができます。

建設中の種苗生産施設



教材用に映写機20台を購入

小・中学校の視聴覚教育を充実しようと、41年度から3カ年計画で、8ミリ映写機を購入し、各校に一台ずつ設置していますが、本年度は、240万円で20台（附属品を含む。）を購入し、道徳、社会、体育など幅広い教材として活用しています。

美しい環境づくりはわしらの手で「植樹に懸命の民生委員の方々」
— 城あとなにつじ植樹 —

民生児童委員協議会（会長宮本芳晴氏）では、民生児童委員制度五十周年の記念事業として、十一月二日、久松城跡の南側にあたる桶やぐら附近に、つつじ六十本を植えました。この日は協議会の総務さん約三十人がクワやスコップを持ちよって、一本一本心をこめて植えられました。会長の宮本さんは、この城跡が市民のいこいの場となるよう、みんなで美しい環境づくりに協力したいものだと言っておられた。



きょうろぼ

保険料の窓口事務に思う

— 問 —

いつもの方法で、国民年金保険料を払い込みに市役所へいったところ、係員は、わざわざ納入書をつくり、市金庫へ納めて受け取り書を持ってくるよう指示された。おたがいに、窓口事務は手数をばふきたいものだがいかがだろう。私も多忙のなかを期日におくれないよう納入に行くのです。市の一考を望みます。

相生町四丁目 井上栄一

— 答え —

三連式の納付書をつくって、

市民の方々に直接市金庫に納めてもらうようにしましたのは、

印紙の売りさばき事務に間違いないようにするためです。よくよくお願いします。ついては、この際お願いしたいのは、相生町四区の婦人会でも、国民年金保険料の収納事務のお世話をしておられますので、この組織にご加入いただければ、毎月市役所までおいでになる手数はぶけると思いますので、ぜひご利用されることをおすすめします。

保険年金課

市民会館だより

おもな行事（予定）

十一日（月）

鳥取労音十二月例会

（ミュージカル、アカデミー） 公費制

十二日（火）

東京文化祭映画（民音） 公費制

十六日（金）

服装新作発表会（有料）（ファッションショー）

二十六日（火）

結婚式

市民会館（大ホール、会議室結婚式場）の使用申し込みは電話②八七五・八七六四番へお気軽にご利用ください。



市営住宅の入居希望者を募集

受け付け十二月六日～二十日まで

市では、昭和四十二年度湖山団地の市営住宅の新入居者および補充入居者をつぎのとおり募集します。

記

1 住宅及び家賃

- (1) 第一種公営住宅(四戸、新入居) 家賃四千円～四千五百円
 - (2) 第二種公営住宅(三戸、新入居) 家賃三千円程度
 - (3) 第二種公営住宅(五戸、補充入居) 家賃千七百円～三千円
- 2 住宅場所
湖山団地

3 申込資格

現在住宅に困っている者のうち同居者があり、市内に住所または勤務している者で、公営住宅法に示す世帯収入額(別表)の者であること。

4 受付期間

十二月六日(水)～十二月二十日(水)

5 抽せん日

十二月二十五日(月) 6 場所 市役所六階大会議室 7 その他 希望者は、市役所厚生課住宅係へ所定の用紙に記入のうえ申し込みください。

(別表)

第2種	第1種		種別 収入基準 家族数
	最低	最高	
年間収入額 (月間収入額)	年間収入額 (月間収入額)	年間収入額 (月間収入額)	扶養 人数
34 万円 (28,333円)	34 万円 (28,333円)	58 万円 (48,333円)	0
37 (30,833)	37 (30,833)	61 (50,833)	1
40 (33,333)	40 (33,333)	64 (53,333)	2
43 (35,833)	43 (35,833)	666,666円 (55,555)	3
46 (38,333)	46 (38,333)	693,333円 (57,777)	4
49 (40,833)	49 (40,833)	72 万円 6 万円	5

国道占用の手続きは

建設省へ

日除け、看板、アーケードなど

の取り付けで国道を占用する場合とか、国道ぞいの土地埋立て、支道や通路の取り付けなど、すべて国道敷地に関係する工事を行なう

新年市民合同祝賀会

申し込みは25日まで

昭和四十三年の輝かしい新春を祝って、市民が一堂に会して迎えるため新年市民合同祝賀会をつぎの要領で開きます。多数参加してください。

記

※日時 一月一日 午前十一時

※場所 遷喬小学校講堂

※会費 百五十円

※申し込み 会費を添えて十二月二十五日(月曜日)までに市役所庶務課行政係へ申し込みください。

ただし、日曜日、土曜日午後を除きます。

なお、名簿作成のうえ、名刺交換

場合の許可、承認などの申請先(窓口)が、これまでは建設省と県に分れていましたが、このたびから窓口が鳥取市丸山にある「鳥取国道維持出張所」(電話220五十一番)に変わりました。

なお、国道の管理についてのご相談は、建設省鳥取工事事務所道路管理課へ(電話228四三五番)



郵便局だより



年賀状は十二月二十二日ごろまでに、年末贈答小包は十五日ごろまでに出してください。

おし追ってからは、せっかくの心ずくしが元旦に間に合わないことがあります。

◆ ◆ ◆

大事な便りを確実に受け取るためにも、各家庭に郵便受箱をそなえましょう。

換にかえます。期限後の申し込みは、名簿に登録できない場合もありますので、かならず期限までに申し込みください。



●●●●●
自分の住所は、いつも市役所の住民台帳と一致するように……。
十一月十日から
転入・転出
転居市内の移動
世帯変更
詳しくは
鳥取市民生部市民課へ
(電話228二一内線一
二四四二四八番)

紙上御礼

鳥取市社会福祉協議会

金1万円也 市内立川町1丁目100の5 藤田忠雄殿
金1万円也 市内吉方360 広瀬 正子殿
金5千円也 市内立川町1丁目 高田 健重殿
金1万円也 市内吉方303の2 田中幸一郎殿
金1万8千円也 市内東町2丁目 鈴木 護郎殿
金5千円也 市内行徳84の1 山下司景明殿
これは、いずれも香典返しとして、市の社会福祉事業にとご寄附くださいました。つつしんで感謝申し上げます。

金5万円也 鳥取民謡協会 会長 浜沢長三郎殿
金3千円也 鳥取市舟木 福田嘉福治殿
これは、市の社会福祉事業にとご寄附くださいました。厚く感謝申し上げます。

善意銀行の利用の問い合わせは

鳥取市尚徳町116

市役所厚生課内

鳥取市社会福祉協議会(電話28111-248)へ

43年版 県民手帖 ¥100

申し込みは
市役所庶務課統計係へ
(電話28111-214)



とつとり市報

実験室

この実験室では、火災原因の究明や消火剤薬品の効果、また、一般家庭用品などの燃焼度、などについて化学的な実験、分析などを行なっています。



落第した紳士

男でもはればれする紳士の君が街を歩いて行く。あそこが、その視線が君を追う。とくに、女性の目が……。なぜだ??...その視線が一せいに君からはなれた。きみが、たばこの吸いガラを道に捨てたからだ。

消防本部

庁舎二階にある本部では、火災予防のための対策をはじめ、危険物に関することや庁内事務員などの中核となっている。



通信室

このたび経費285万円で、全市はいままでもなく、県東部一円で通信連絡ができる超短波無線電話を消防庁舎の通信室と全車にそなえつけました。

このため、消防本部と火災現場、また、現場へ向う車などとの連絡ができ、これまでの中短波無線電話の活用とあわせて一層消防力が充実しました。

火災の通報は、すぐ通信室から一せいの指令のベルとともに庁内放送され、待機の職員は一せいに出勤態勢を整えます。この間約三十秒前後、突発的に起る火災にそなえて、平常からこの訓練を行なっています。



出動

サイレンもけたたましく、火災現場へ……赤バイを始め、タンク車、普通ポンプ車、司令車がつぎつぎと出動します。消防自動車は、こない、来るのが遅い。などよく火事場附近で耳にしますが、火災通報は誰かがしているだろう。などとみんなが他人をあてにしている。結局、消防への通報がおくれていることがしばしばです。こんな場合が大火の原因にもなっています。

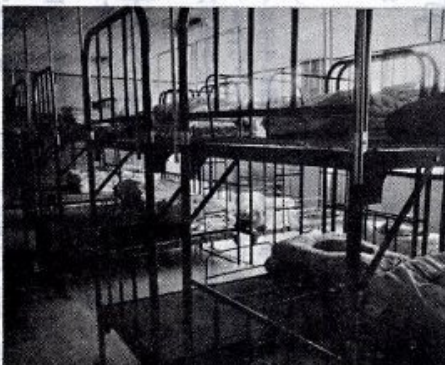


鳥取市の消防力

消防ポンプ自動車	7台
普通ポンプ車	4台
内訳 化学車	1台
速消車(タンク車)	2台
救急車	2台
司令車	1台
赤バイ	2台
消防用無線電話	
超短波無線電話	基地1局・移動6局
中短波無線電話	基地1局・移動4局
職員	70人
消防団	21分団 1,364人
ポンプ自動車	13台
手引ポンプ車	46台
可搬ポンプ車	19台
建物 鉄筋コンクリート1部3階	
	1,049.11平方メートル
附属施設 鉄骨平屋建	
	及びブロック造平屋建
敷地面積	942.87平方メートル

仮眠室

万一の火災にそなえて、消防職員50人は25人ずつ二交替制で終日勤務についています。このうち輪番で仮眠をしている者も、火災通報と同時に約30秒で出勤態勢を完了します。



現場へ急ぐ救急車

救急車は、交通事故をはじめ突発的な事故や急病ではかに搬送方法がない場合に出動しますが、ことしは、11月末現在で633回出動し、519人を病院へ運び手当てをしました。このうち交通事故関係が最も多く200件、ついで急病、一般傷病となっています。



近代化した

鳥取市の消防

―通報から出動まで三十秒―

営々辛苦で築きあげた財産が瞬間灰になり、返らない人命まで奪い去る残酷な火事も、元はといえばちよとした不注意や子どもの火遊びが原因です。最近では石油化学製品が数多く生活のなかに持ち込まれており、危険がいっぱいです。こういったなかで、消防署は市民みなさんの人命や財産を守るため、昼夜を問わず寝ずの番をしており、万一の場合には三十秒で飛び出すことができます。この春、行徳の市立体育館前に新築した消防庁舎は、十一万市民の人命と財産を守るにふさわしい機能的なものであり、さらに十一月十六日の超短波無線局の開局で、全市どこからでも消防本部との連絡が可能となり、消防活動はより充実しました。



古い習慣はなかなか絶ちにくいものですが考えかた、やりかたひとつで、意義はじゅうぶん達せられるものです。この自衛運動を進めるために、県ではカッターのような「門松カード」の使用と、モミの鉢植え利用をおすすめしています。

「門松カード」は県緑化推進委員会で作成したものを市町村の農家または経済課で実費